

ICT活用工事積算要領（ブロック据付工編）（令和7年4月改定版）

ICT活用工事を実施する場合の積算については、以下に示す手順によるものとする。

① 工事価格

・ 共通仮設費（率）は、下表による率を用いて算出する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 20 億円以下		20 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
漁港漁場関係 構造物工事	7.97% (7.97%) <7.93%>	132.7 (134.0) <134.6>	-0.1802 (-0.1808) <-0.1814>	2.80% (2.79%) <2.77%>

※ICT 基礎工が含まれる工事は（ ）の率を、ICT 海上地盤改良工と ICT 基礎工の両方が含まれる工事は、< >の率を、適用する。

対象金額	600 万円以下	600 万円を超え 10 億円以下		10 億円を超えるもの
適用区分等	下記の率とする	算定式により算出された率とする。 ただし、定数値は下記による		下記の率とする
		a	b	
漁港漁場関係 海岸工事	13.08% (13.07%)	407.9 (407.7)	-0.2204 (-0.2204)	4.24% (4.23%)

※ICT 基礎工が含まれる工事は（ ）の率を適用する。

共通仮設費率の算定式

$$K r = a \cdot P b \text{（小数 3 位四捨五入）}$$

ただし、

K r ： 共通仮設費率（％）

P ： 共通仮設費率の算出対象額（円）

a、b：定数値

② 「ICT 施工」代価表

（1）ブロック据付（1 スイング） 1 日（ 個）当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
クレーン付台船 または 運転 起重機船	t 吊 非航旋回 鋼 D t 吊	日	1	運 6H／就 8H
引 船	鋼 D PS 型	〃	1	運 2H／就 8H
潜 水 士 船	D270PS 型 3～5t 吊	〃		就業 8H
と び 工		人		
普 通 作 業 員		〃		
施 工 管 理 シ ス テ ム		日	1	
雑 材 料				

(2) ブロック運搬据付（海上一連方式） 1日（ 個）当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
クレーン付台船 または 運転 起 重 機 船	t 吊 非航旋回 鋼 D t 吊	日	1	運・作 難 力 / 就 8H
引 船 "	鋼 D PS 型	"	1	"
潜 水 士 船 "	D270PS 型 3～5t 吊	"		就 業 8H
と び 工		人		
普 通 作 業 員		"		
施 工 管 理 シ ス テ ム		日	1	
雑 材 料				

(3) ブロック運搬据付（陸海一貫方式） 1日（ 個）当り

名 称	形状寸法	単位	数量	摘 要
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t 吊	日	1	標準運転時間
ト ラ ッ ク または ト レ ー ラ	t 積	"		"
クレーン付台船 または 運転 起 重 機 船	t 吊 非航旋回 鋼 D t 吊	"	1	運・作 難 力 / 就 8H
引 船 "	鋼 D PS 型	"	1	"
潜 水 士 船 "	D270PS 型 3～5t 吊	"		就 業 8H
と び 工		人		
普 通 作 業 員		"		
施 工 管 理 シ ス テ ム		日	1	
雑 材 料				

(1) ～ (3) の補足等

※据付が水中の場合のみ、施工管理システム計上の対象とする。

※潜水士船の潜水方式については下記のとおりとする。

- 1.水深 15m未満の場合は単独潜水方式、水深 15m以上 30m未満の場合は 2 人潜水方式（交互）を適用する。

なお、水深 30m 以上の場合や現場条件によりこれにより難しい場合は別途考慮する。

- 2.水深については、平均干潮面（M.L.W.L.）からの水深とする。

- 3.ブロックの一部が水深 15m以上にある場合は、2 人潜水方式（交互）とする。

※現場条件により作業船の拘束が発生する場合は、別途考慮すること。

③ 測量業務価格（完成断面把握・出来形管理のための測定の費用）

- ・水中部におけるマルチビーム測量に伴う現地測量については別紙により算出する。
- ・気中部はUAVやレーザースキャナーに伴う測量となるため、見積を標準とする。

（参考）見積項目

【測量作業費】

- 1) 測量準備（水中部及び気中部）
- 2) 標定点の設置（気中部）
- 3) UAVによる空中撮影又は地上レーザ観測（気中部）
- 4) 測量及び測深データ解析（水中部及び気中部）【気中部は出来形管理資料含む】

【測量調査費】

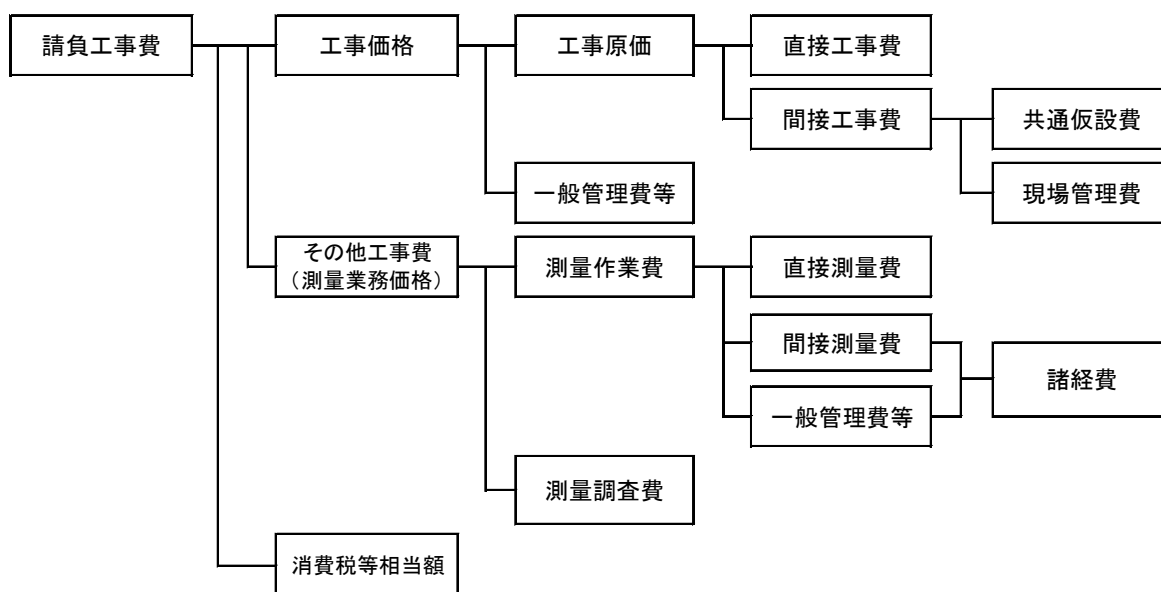
- 5) 3次元モデル作成

※その他、必要に応じ項目を計上すること。

・「業務成果品」「諸経費」は、③の直接測量費の合計を対象金額として算出する。

・「その他原価」「一般管理費等」は、3次元モデル作成の直接人件費、業務原価を対象として算出する。

④ 算出した③測量業務価格をその他工事費に計上し、①工事価格と合算する。



ICTブロック据付工に適用する測量歩掛について

(完成形状把握のための測量)

項目	ICTブロック据付工事実施に使用する特定代価					
数量計算等	細 別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	内 容	単位	数 位	摘 要
	測量準備	機材運搬		〃	1位止を原則とする。 ただし、数量がkm2単位のもの は小数3位四捨五入とする。	四捨五入
	水深測量	検潮基準測定		式		
		検潮	測定日数	日		
		検潮資料整理	測定日数	〃		
		艀装テスト		式		
		マルチビーム測深		式		
① 測量準備						
② 機材運搬	機材運搬 (2往復当り) 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	測 量 補 助 員		人	2		
	ト ラ ッ ク	2t積	日		標準運転時間	
	雑 材 料		%	1		
※トラックの能力は、基準2編1節3-2-2 機材運搬による。						
③ 検潮基準測定	検潮基準測定 1式当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	主 任 技 師	測 量	人	1		
	技 師	〃	〃	1		
	雑 材 料		%	1		
※基準2編1節3-4-2 検潮基準測定により、必要に応じ計上する。						
④ 検潮	検潮 1日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	交 通 車	ライトバン2L	日	0.3	運2H/就8H	
	助 手	測 量	人	0.3		
	雑 材 料		%	1		
※基準2編1節3-4-3 検潮により、必要に応じ計上する。						
⑤ 検潮資料整理	検潮資料整理 10日当り					
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
	技 師	測 量	人	1		
	技 師 補	〃	〃	1		
	助 手	〃	〃	1		
	雑 材 料		%	1		

ICTブロック据付工に適用する測量歩掛について

(完成形状把握のための測量)

項目	ICTブロック据付工事実施に使用する特定代価				
⑥ 艀装テスト	艀装テスト 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1.5	
	技 師 補	〃	〃	1.5	
	助 手	〃	〃	1	
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	日	1	就業 8H
	GNSS		〃	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	1	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-2 艀装テストにより、損料等を計上する。					
⑦ 測深	測深 1式当り				
	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
	交 通 車	ライトバン2L	日	1	運2H/就8H
	測 量 船 (運 転)	FRP D70PS型	〃	1	就業 8H
	主 任 技 師	測 量	人	1	
	技 師	〃	〃	1	
	技 師 補	〃	〃	1	
	助 手	〃	〃	0.5	
	GNSS		日	1	損料
	マルチビーム測深機		〃	1	損料
	雑 材 料		%	2	
※基準2編1節 参考資料-2 2-4-3 マルチビーム測深 の損料等により計上する。 受注者の責に起因しない遅れが生じた場合は、拘束費用等を別途考慮することができる。 測深は1日で設定しているが、測量箇所が点在するなど測深に1日以上要する場合は別途考慮する。					